

## 今年もインフルエンザの季節がやってきました。

### 予防が大切・・・ 家族全員で今日から実行 !!



- 外出から戻ったら、うがい・手洗いを行いましょ。手洗いは、石鹸を使って15秒以上洗い、清潔なタオルやティッシュペーパーで水を十分に拭き取りましょ。
- バランスの良い食事と、十分な休養をとり、規則正しい生活を心がけましょ。

### もしも、インフルエンザにかかってしまったら・・・

- 早めに医療機関を受診して治療を受けましょ。
- 感染を広げないために、外出時にはマスクをつけましょ。

※ インフルエンザの症状  
急な発熱・咳・のどの痛み・体の痛み・頭痛・悪寒・嘔吐・下痢など



### インフルエンザワクチンの予防接種

- インフルエンザにかかっても重症化させないためには、シーズン前のワクチンの接種が効果的です。

詳細は市役所健康推進課にお問い合わせください。(☎22-2111)

入場無料!

## 『家庭教育講演会』開催のお知らせ



- テーマ 「今どき求められる家庭教育の役割とは」  
— 変わる家庭環境・親子関係のなかで —
- 日時 平成22年11月22日(月) 午後6時～7時30分
- 会場 芦別市総合福祉センターふれあいホール
- 講師 北星学園大学社会福祉学部准教授 河野和枝 氏
- 参加申し込み・お問い合わせ先  
教育委員会生涯学習課生涯学習係  
☎ 22-3110  
FAX 22-3172

# 子育てメソッド形成事業の模様を紹介します

子育てメソッド形成事業とは、多くの保護者が集まる機会を活用し、子育てに関する学習機会の提供を行うものです。





去る11月1日（月）、上芦別小学校における就学時健康診断の時間を活用し図書館司書による絵本の読み聞かせなどを行いました。



最初に、保護者と児童を対象とした読み聞かせを行った後、「本を読む習慣は家庭から」をテーマとした講話を行いました。

以下では、図書館司書による講話の概要と参加された保護者からの感想を紹介します。

## 【図書館司書による講話の概要】

本の良いところってなあに？	絵本ってなあに？
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆本は自分のタイミングに合わせ読むことができる</li> <li>☆何度でも繰り返し読むことができる</li> <li>☆言葉の力を育てる</li> <li>☆想像力を育てる</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本とは絵と文でできている</li> <li>★良い絵本は文字を読まなくてもわかるようにできている</li> <li>★絵本は赤ちゃんから大人まで楽しめる本</li> <li>★絵本は豊かな「ことばの宝箱」</li> </ul> 
本を読む習慣づくりのために	本が好きになる工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>☆リビング（手の届くところ）に本を置く</li> <li>☆子どもと一緒に本を読む</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>★無理強いしない(遊ぶ時間と読書の時間を分ける)</li> <li>★親子で同じ本を読む</li> <li>★親子で同じ時間に本を読む</li> <li>★子どもの好きな本を読ませる</li> <li>★好奇心を育てる</li> </ul> 

## 【参加された保護者からの感想】

- 子どもの知能の発達にとっても良いことがわかった。
- 絵本の面白さ・大切さを学ぶことができた。
- 子どもに絵本を読んであげたいという気持ちになった。
- 子ども以上に大人が楽しむことができた。
- 普段何気なく子どもに読んであげていることに意味があることがわかった。



絵本「しりとりのだいすきなおうさま」の読み聞かせを行う図書館司書



図書館司書の読み聞かせを楽しむ参加者（親子19組参加）